

利尻地域マリンビジョン

～水産資源・地域資源を活かした「豊かな海づくり・地域づくり」～

(平成 31 年 2 月改訂)

- ・対象地域：利尻町
- ・地域人口：2,303人(平成27年国勢調査)
- ・漁港：仙法志漁港(4種)、御崎漁港(1種)
新湊漁港(栄浜)(1種)、蘭泊漁港(1種)
- ・漁業就業者：279人(平成25年漁業センサス)

- 拠点漁港のタイプ
- 陸揚げ・流通拠点
 - 増養殖支援拠点
 - 避難拠点

拠点漁港



第4種仙法志漁港



岸壁

地域の資源等

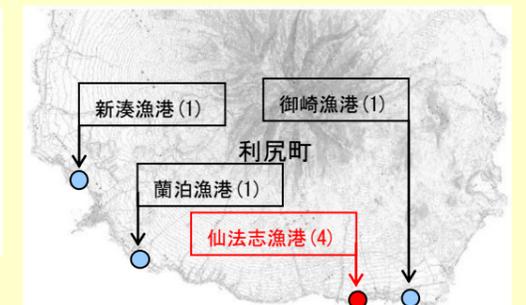


利尻産エゾバフンウニ



利尻養殖コンブの陸揚げ

【位置図】



地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

沿岸漁業・磯付漁業の振興やつくり育てる漁業の推進、水産物流通の効率化と一貫した品質管理による利尻ブランドの確立や観光産業との連携強化を目指す。さらに防災対策の充実により、安全安心な利尻地域の基盤形成を図る。

(1) 沿岸漁業や栽培漁業の振興

魚類の資源増大と資源保護のため大型魚礁の設置、漁場造成のため囲い礁(嵩上げ礁)の設置、養殖漁業の推進、ウニ、ナマコ等人工採苗による安定的な種苗放流と漁場管理を図る。

(2) 水産物の安定提供のための衛生管理・基盤整備の推進

水産物衛生管理マニュアルの徹底、屋根付き岸壁での陸揚げから水産加工施設での加工処理までの総合的な衛生・品質管理体制を構築することで、利尻ブランドの確立と販路拡大の推進を図る。さらに、漁港基盤整備による増養殖事業の推進を図る。

(3) 水産資源による地域活性化の振興

利尻地域にある地域資源を活用した新しい製品の開発や水産物のブランド化を推進することで、魅力的な観光コンテンツを創出する。また、水産と観光との連携による体験型観光施設の整備により、通過型観光から体験・滞在型観光への転換を図る。

(4) 災害に強い安全・安心な地域づくりの推進

地震津波等による大規模災害の発生に備え、総合的な地域防災対策を官民一体になって推進し、安全・安心な生活環境と地域の暮らしを確立する。

現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業就業者の減少と高齢化傾向 ○漁業資源の減少と価格の低迷 ○コンブの根への虫付着による等級の低下 ○観光業における消費効果の低迷 ○災害時に孤立化の可能性が高い立地
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○資源管理とつくり育てる漁業への取組強化 ○水産物の品質管理 ○コンブ漁業の生産性向上 ○水産品の利尻ブランドの確立 ○水産と観光との連携強化 ○地域防災対策の強化

地域資源(特徴)

- 豊かな漁場が近接していることから多種多様な水産資源による漁業生産基地
【利尻コンブ、エゾバフンウニ、ホッケ、タコ、ナマコ等】
- 豊かな自然景観
【利尻山、利尻礼文サロベツ国立公園】
- 地域資源を活用した商品開発
【海藻おしば、利尻コンブを使用した食品開発】

漁港の将来像

- ①水産物流通の効率化と一貫した品質管理
(屋根付き岸壁、排水処理施設)
- ②安全で快適な漁業地域の形成
(外郭施設、老朽化岸壁の改良)
- ③生産労働の効率化・近代化、担い手支援
(防波堤、強風対策、コンブ協業施設)
- ④漁港区域内の未利用水域の有効活用
- ⑤港湾との連携による地域の孤立化対策

ビジョン実現のための主な取組み

- 仙法志堆周辺に大型魚礁の設置、未利用漁場に囲い礁(嵩上げ礁)を設置
- ウニ・ナマコ人工種苗の放流、ウニの害敵(ヒトデ・カニ)駆除、雑海藻の駆除の実施
- 水産物衛生管理マニュアルの更新・徹底、陸揚げ～加工までの総合衛生管理体制の構築
- 貝類の選別、コンブ協業のための上屋施設の整備
- 漁港区域内への人工投石礁の設置によるナマコ等の増養殖事業の支援
- 通過型観光から、体験・滞在型観光への転換
- インターネットの観光情報システム等の活用による効果的な観光情報PR
- 地域防災計画の見直し、津波ハザードマップの作成等による地域防災力の向上

地域マリンビジョン協議会

■地域マリンビジョン協議会メンバー

- ・学識経験者 利尻町港湾漁港審議会会長
- ・漁業関係者 利尻漁業協同組合代表理事組合長
" 仙法志支所運営委員長
" 仙法志地区選出役員
" 仙法志支所小型部会長
" 仙法志支所養殖部会長
- ・観光関係者 利尻町観光協会会長
" 事務局長
- ・自治会関係者 仙法志地区連合自治会長
- ・行政関係者 利尻町副町長

■事務局(利尻町・利尻漁協仙法志支所)